

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京商科・法科学院専門学校
設置者名	学校法人 東京日新学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
-----	-----	-----------	-----------------------------	-------------------	------

商業専門課程	経営・事務ビジネス学科 経営・ショップビジネスコース	夜・通信	1000 時間	80×2=160 時間	
	経営・事務ビジネス学科 事務・経理ビジネスコース	夜・通信	560 時間	80×2=160 時間	

商業専門課程	ビジネスキャリア学科	夜・通信	1000 時間	80×2=160 時間	
--------	------------	------	---------	-------------	--

法律専門課程	公務員・法律学科 公務員コース	夜・通信	240 時間	80×2=160 時間	
	公務員・法律学科 警察官・消防官コース	夜・通信	240 時間	80×2=160 時間	
	公務員・法律学科 行政書士・宅建士コース	夜・通信	1200 時間	80×2=160 時間	

法律専門課程	公務員学科	夜・通信	480 時間	80×2=160 時間	
--------	-------	------	--------	-------------	--

商業専門課程	経営・ショップビジネス学科Ⅱ部	夜・通信	1280 時間	45×2=90 時間	
	事務・情報ビジネス学科Ⅱ部	夜・通信	940 時間	45×2=90 時間	
	観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部	夜・通信	1220 時間	45×2=90 時間	

商業専門課程	ビジネスキャリア学科Ⅱ部	夜・通信	880 時間	45×2=90 時間	
--------	--------------	------	--------	------------	--

法律専門課程	公務員学科Ⅱ部	夜・通信	660 時間	45×2=90 時間	
--------	---------	------	--------	------------	--

(備考)					
------	--	--	--	--	--

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.tokyo-nissin.ac.jp/schoolguide/disclosure.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)
なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京商科・法科学院専門学校
設置者名	学校法人 東京日新学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

[https://www.tokyo-nissin.ac.jp/albums/abm.php?d=16&f=abm00000961.pdf&n=理事\(役員\)名簿.pdf](https://www.tokyo-nissin.ac.jp/albums/abm.php?d=16&f=abm00000961.pdf&n=理事(役員)名簿.pdf)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	現専門学校学園長	2023.4.1～ 2027.3.31	組織体制へのチェック機能と強化
非常勤	現専門学校理事長	2023.4.1～ 2027.3.31	学生募集に対する広い知見
非常勤	現専門学校理事	2023.4.1～ 2027.3.31	教務カリキュラムに対する広い知見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京商科・法科学院専門学校
設置者名	学校法人 東京日新学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】 各授業科目については、毎年度、教務会議により、授業科目の設定・講義内容についての検討・検証に基づき、作成されている。内規の中で、授業科目名、必要時間数、担当教員、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は、全科目共通で記載することが必須となっている。</p> <p>【時期について】 翌年度の講義予定(授業計画)は、年度末までに担当教員が作成し、教務会議で決定し、本校のHP等で公開をしている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本校 HP</p> <p>https://www.tokyo-nissin.ac.jp/schoolguide/disclosure.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>・卒業について</p> <p>進級・卒業については、学科毎に定められた所定の単位数を取得するとともに、既定の学納金を完納していることをその要件とする。</p> <p>・単位認定と成績評価について</p> <p>授業科目の単位は、原則として総授業時間数(定期試験を含むコマ数)の3分2以上出席し、かつ、100点満点中の50点以上の評価を得たときに認定される。</p> <p>成績評価の対象には、①定期試験(レポート含む)、②ミニテスト、③検定試験対策等答練(問題演習)の点数、④出席率、⑤授業態度、⑥その他、がある。これら対象を、たとえば、①6割、②1割、③1割、④1割、⑤1割等として配分して、100点満点で評価する。これらの配分は、各教科担当があらかじめ決め、各学科のマネージャーの承認を得たうえで、授業開始時に学生に告知する。成績評価がなされた後には、各学科のマネージャーがその基準に従って評価がなされたかを確認する。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>内規において、当校では秀・優・良・可・不可の数を点数化し、就職の学内推薦卒の候補者選定や、独自奨学金、学業優秀者の表彰候補者選出などに活用している。学業成績は、授業科目ごとに行なう試験（定期試験、実技試験、レポート等）を中心にして評価される。</p> <p>本校ではG P A（Grade Point Average）を導入し、各授業の評価を100点満点を基準として、50点以上を合格とし、合格者の中でも、評価点数により100～90点をS（秀）、89～80点をA（優）、79～60点をB（良）、59～50点をC（可）とする。また、49点以下の不合格者をD（不可）として、成績を通知する。</p> <p>そして、各授業の成績評価を既定の数値に置き換え、1単位あたりの平均成績を算出することで個人ごとの客観的な指標を算出する。各成績はS（4点）、A（3点）、B（2点）、C（1点）に換算する。そこで、G P Aは（Sの単位数×4 + Aの単位数×3 + Bの単位数×2 + Cの単位数×1）の合計を、各学生が履修済みの総単位数で除した数として算出する。</p> <p>なお、成績評価方法については、本校HPで公開するほか、キャリアプログラムで入学学生に告知している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>本校 HP https://www.tokyo-nissin.ac.jp/albums/abm.php?d=16&f=abm00000968.pdf&n=成績評価の方法.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本校は、実学教育の専門学校として、実社会で即戦力となる学生を育成し、社会に貢献することを目的としている。</p> <p>卒業要件については、各学科が定める所定の授業科目を所定の年次に受講し、卒業に必要な規定の単位数以上を取得したこと及び所定の学納金を完納していることと定めている。詳細については、本校HPと学生ハンドブック等に記載している。</p> <p>なお、本校では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）でより詳しく策定し、HPに公表している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>本校HP https://www.tokyo-nissin.ac.jp/albums/abm.php?d=16&f=abm00000967.pdf&n=卒業認定の方法.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京商科・法科学院専門学校
設置者名	学校法人 東京日新学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校ホームページにて毎年6月上旬頃に更新し、公開を予定している https://www.tokyo-nissin.ac.jp/albums/abm.php?d=16&f=abm00000962.pdf&n=令和4年度・計算書類.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業専門課程	経営・事務ビジネス 学科 経営・ショッ プビジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	85 単位時間/単位	54 単位時 間/単位	36 単位時 間/単位	2 単位時 間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人のうち数		4人	2人	3人	10人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	4人 (26.7%)	9人 (60.0%)	2人 (13.3%)
（主な就職、業界等） 小売業（オーケー(株)、(株)お蔵ホールディングス、(株)メガネフラワー、東日本三菱自動車販売(株)、トライアルホールディングス、東亜トレーディング(株)、(株)丸昭） 人材派遣業（EN(株)）、飲食業（レインズインターナショナル）など			

<p>(就職指導内容)</p> <p>学内企業説明会、時事試験問題研究、エントリーシート・履歴書・作文試験添削、個別・面接対策、SPI、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等</p>
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>リテールマーケティング検定、日商簿記検定、色彩検定、商業ラッピング検定、コンピュータ会計能力検定試験、マイクロソフトオフィススペシャリストワード・エクセル</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	4人	18.1%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更、就職など</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組)</p> <p>担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また出席不良者には、随時個人面談を行っている。経済的理由においては学納金担当が相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者と連携して進路変更の相談に対応している。</p>		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業専門課程	経営・事務ビジネス 学科 事務・経理ビ ジネスコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	85 単位時間/単位	61 単位時 間/単位	29 単位時 間/単位	2 単位時 間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人のうち数		6人	1人	3人	8人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 金融業界（㈱東和銀行、小松川信用金庫）、小売業（ミニストップ㈱）、その他(虹宮会計事務所)			
（就職指導内容） 学内企業説明会、時事試験問題研究、エントリーシート・履歴書・作文試験添削、個別・面接対策、SPI、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等			

<p>(主な学修成果(資格・検定等)) 日商簿記検定、全経簿記検定、ビジネス文書検定、秘書検定、コンピュータ会計能力検定試験、IT パスポート、マイクロソフトオフィススペシャリストワード・エクセル</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

<p>中途退学の現状</p>		
<p>年度当初在学者数</p>	<p>年度の途中における退学者の数</p>	<p>中退率</p>
<p>13人</p>	<p>2人</p>	<p>15.3%</p>
<p>(中途退学の主な理由) 進路変更など</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また出席不良者には、随時個人面談を行っている。経済的理由においては学納金担当が相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者と連携して進路変更の相談に対応している。</p>		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業専門課程	ビジネスキャリア 学科	専門士の推 薦手続き中			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	85 単位時間/単位	61 単位時 間/単位	29 単位時 間/単位	2 単位時 間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	27人	9人	3人	8人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 (0%)	-人 (0%)	-人 (0%)	-人 (0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 学内企業説明会、時事試験問題研究、エントリーシート・履歴書・作文試験添削、個別・面接対策、SPI、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等			

(主な学修成果(資格・検定等)) 日商簿記検定、全経簿記検定、ビジネス文書検定、秘書検定、コンピュータ会計能力検定試験、IT パスポート、マイクロソフトオフィススペシャリストワード・エクセル

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
-人	-人	-%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		法律専門課程	公務員・法律学科 公務員コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	85 単位時間/単位	35 単位時 間/単位	59 単位時 間/単位	4 単位時 間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30の内数		2人	0人	1人	7人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0.0%)	4人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 公務員（国家一般職、入国警備官、東京23区職員）、一般社団法人日本貨物検数協会			
（就職指導内容） 学内官庁説明会、時事試験問題研究、志望理由書・願書添削、作文試験添削、個別・面接対策、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等			

(主な学修成果(資格・検定等)) マイクロソフトオフィススペシャリストワード・エクセル
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	1人	14.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また出席不良者には、随時個人面談を行っている。経済的理由においては学納金担当が相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者と連携して進路変更の相談に対応している。		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		法律専門課程	公務員・法律学科 警察官・消防官コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	85 単位時間/単位	35 単位時 間/単位	59 単位時 間/単位	4 単位時 間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
	単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30の内数		1人	0人	1人	7人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	0人 (0%)	2人 (66.7%)	1人 (33.3%)
（主な就職、業界等） 千葉県職員、自衛官候補生			
（就職指導内容） 学内官庁説明会、時事試験問題研究、志望理由書・願書添削、作文試験添削、個別・面接対策、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等			

(主な学修成果(資格・検定等)) マイクロソフトオフィススペシャリストワード・エクセル
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	1人	16.6%
(中途退学の主な理由) 公務員試験合格による退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また出席不良者には、随時個人面談を行っている。経済的理由においては学納金担当が相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者と連携して進路変更の相談に対応している。		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		法律専門課程	公務員・法律学科 行政書士・宅建士コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	85 単位時間(単位)	72 単位時 間/単位	23 単位時 間/単位	4 単位時 間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30の内数		9人	2人	2人	4人	6人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100%)	2人 (25.0%)	5人 (62.5%)	1人 (12.5%)
(主な就職、業界等) 不動産業界 (日神不動産(株)、(株)エスエストラスTok、ハウスコム(株)、賃貸スマイル(株))			
(就職指導内容) 学内企業説明会、時事試験問題研究、エントリーシート・履歴書・作文試験添削、個別・面接対策、SPI、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等			

<p>(主な学修成果(資格・検定等)) 行政書士、宅建士、ビジネス実務法務検定、マイクロソフトオフィススペシャリスト ワード・エクセル</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

<p>中途退学の現状</p>		
<p>年度当初在学者数</p>	<p>年度の途中における退学者の数</p>	<p>中退率</p>
<p>22人</p>	<p>5人</p>	<p>22.7%</p>
<p>(中途退学の主な理由) 怠学、進路変更等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また出席不良者には、随時個人面談を行っている。経済的理由においては学納金担当が相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者と連携して進路変更の相談に対応している。</p>		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		法律専門課程	公務員学科	専門士の推薦手続き中			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	85 単位時間/単位	35 単位時間/単位	59 単位時間/単位	4 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		0人	0人	1人	7人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
-人 (0.0%)	-人 (0.0%)	-人 (0.0%)	-人 (0.0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 学内官庁説明会、時事試験問題研究、志望理由書・願書添削、作文試験添削、個別・面接対策、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等			

(主な学修成果 (資格・検定等)) マイクロソフトオフィススペシャリストワード・エクセル
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
。		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業専門課程	経営・ショップビジネス学科Ⅱ部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	85 単位時間/単位	47 単位時間/単位	6 単位時間/単位	54 単位時間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	3人	0人	4人	4人	8人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） 学内企業説明会、時事試験問題研究、エントリーシート・履歴書・作文試験添削、個別・面接対策、SPI、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>リテールマーケティング検定、日商簿記検定、色彩検定、商業ラッピング検定、コンピューター会計初級、マイクロソフトオフィススペシャリストワード・エクセル</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また出席不良者には、随時個人面談を行っている。経済的理由においては学納金担当が相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者と連携して進路変更の相談に対応している。</p>		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業専門課程	事務・情報ビジネス 学科Ⅱ部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	85 単位時間/単位	46 単位時間/単位	5 単位時間/単位	54 単位時間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	0人	0人	4人	4人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	0人 (0.0%)	5人 (100%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 金融業界 (小松川信用金庫)、情報業界 (ヤマト無線(株))、物流業界 (株富士運輸、株エコ配、サンコー・エア・セルテック(株))			
(就職指導内容) 学内企業説明会、時事試験問題研究、エントリーシート・履歴書・作文試験添削、個別・面接対策、SPI、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>日商簿記検定、全経簿記検定、ビジネス文書検定、秘書検定、FP 技能士、コンピューター会計初級、IT パスポート、マイクロソフトオフィススペシャリストワード・エクセル</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7名	2人	28.5%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>進路変更等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また出席不良者には、随時個人面談を行っている。経済的理由においては学納金担当が相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者と連携して進路変更の相談に対応している。</p>		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業専門課程	観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	85 単位時間/単位	35 単位時間/単位	17 単位時間/単位	53 単位時間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
30人	1人	0人	4人	4人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0.0%)	3人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ホテル業界 (株)帝国ホテル、オリックスホテルマネジメント(株)、(株)ミナシア			
(就職指導内容) 学内企業説明会、時事試験問題研究、エントリーシート・履歴書・作文試験添削、個別・面接対策、SPI、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>ホテルレストラン技能士、ホテルビジネス検定、旅程管理者講習、アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネーター、サービス接客検定、世界遺産検定、マイクロソフトオフィススペシャリストワード・エクセル</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	1人	20.0%
<p>(中途退学の主な理由)</p> <p>怠学等</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また出席不良者には、随時個人面談を行っている。経済的理由においては学納金担当が相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者と連携して進路変更の相談に対応している。</p>		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業専門課程	ビジネスキャリア 学科Ⅱ部	専門士の推 薦手続き中			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	85 単位時間/単位	35 単位時 間/単位	17 単位時 間/単位	53 単位時 間/単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	4人	0人	4人	4人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
-人 (0%)	-人 (0%)	-人 (0%)	-人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 学内企業説明会、時事試験問題研究、エントリーシート・履歴書・作文試験添削、個別・面接対策、SPI、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等			

<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>ホテルレストラン技能士、ホテルビジネス検定、旅程管理者講習、アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネーター、サービス接客検定、世界遺産検定、マイクロソフトオフィススペシャリストワード・エクセル</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

<p>中途退学の現状</p>		
<p>年度当初在学者数</p>	<p>年度の途中における退学者の数</p>	<p>中退率</p>
<p>0人</p>	<p>0人</p>	<p>0%</p>
<p>(中途退学の主な理由)</p>		
<p>(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また出席不良者には、随時個人面談を行っている。経済的理由においては学納金担当が相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者と連携して進路変更の相談に対応している。</p>		

① 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		法律専門課程	公務員学科Ⅱ部	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	85 単位時間/単位	54 単位時間/単位	15 単位時間/単位	38 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	7人	0人	4人	4人	8人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業において、定期的に確認テストを行い、学生の理解度チェックを行って、学生の理解不足を補う授業を行っている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、参考書籍や外部セミナーの紹介等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (0.0%)	2人 (66.7%)	1人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 金融業界 (小松川信用金庫)、物流業界 (一般社団法人日本貨物検数協会)			
(就職指導内容) 学内官庁説明会、時事試験問題研究、志望理由書・願書添削、作文試験添削、個別・面接対策、グループディスカッション・グループワーク対策、個人面談、等			

(主な学修成果 (資格・検定等)) マイクロソフトオフィススペシャリストワード・エクセル、ビジネス能力検定 2 級
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5 人	1 人)	20.0%
(中途退学の主な理由) 公務員試験合格		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任教員と個人面談を行い、修学上の不安事項について相談を受け付けている。また出席不良者には、随時個人面談を行っている。経済的理由においては学納金担当が相談を受け付けている。進路変更希望者には、本人の希望・適正について聞き取りと面談を行い、保護者と連携して進路変更の相談に対応している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他※	備考 (任意記載事項)
ビジネスキャリア 学科	160,000 円	780,000 円	195,000 円	授業料 1年次 780,000 円、2年次 780,000 円 教材・実習費 1年次 130,000 円、2年次 110,000 円 施設費 1年次 65,000 円、2年次 65,000 円
経営・事務ビジネ ス学科	160,000 円	780,000 円	195,000 円	授業料 1年次 780,000 円、2年次 780,000 円 教材・実習費 1年次 130,000 円、2年次 110,000 円 施設費 1年次 65,000 円、2年次 65,000 円
公務員学科	160,000 円	780,000 円	185,000 円	授業料 1年次 780,000 円、2年次 780,000 円 教材・実習費 1年次 120,000 円、2年次 70,000 円 施設費 1年次 65,000 円、2年次 65,000 円
公務員・法律学科	160,000 円	780,000 円	185,000 円	授業料 1年次 780,000 円、2年次 780,000 円 教材・実習費 1年次 120,000 円、2年次 70,000 円 施設費 1年次 65,000 円、2年次 65,000 円
ビジネスキャリア 学科Ⅱ部	80,000 円	620,000 円	140,000 円	授業料 1年次 620,000 円、2年次 620,000 円 教材・実習費 1年次 90,000 円、2年次 60,000 円 施設費 1年次 50,000 円、2年次 50,000 円
経営・ショップビ ジネス学科Ⅱ部	80,000 円	620,000 円	140,000 円	授業料 1年次 620,000 円、2年次 620,000 円 教材・実習費 1年次 90,000 円、2年次 60,000 円 施設費 1年次 50,000 円、2年次 50,000 円

事務・情報ビジネス学科Ⅱ部	80,000円	620,000円	140,000円	授業料 1年次 620,000円、2年次 620,000円 教材・実習費 1年次 90,000円、2年次 60,000円 施設費 1年次 50,000円、2年次 50,000円
観光・ホテルビジネス学科Ⅱ部	80,000円	620,000円	140,000円	授業料 1年次 620,000円、2年次 620,000円 教材・実習費 1年次 90,000円、2年次 60,000円 施設費 1年次 50,000円、2年次 50,000円
公務員学科Ⅱ部	80,000円	620,000円	140,000円	授業料 1年次 620,000円、2年次 620,000円 教材・実習費 1年次 90,000円、2年次 60,000円 施設費 1年次 50,000円、2年次 50,000円
修学支援（任意記載事項）				
※「その他」の欄には「教材・実習費」「施設費」の1年次の金額を記載しています。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ https://www.tokyo-nissin.ac.jp/albums/abm.php?d=16&f=abm00000960.pdf&n=20230331_自己点検・評価報告書.pdf		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制） 学校関係者として、関係企業、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かした教育内容・学校運営等について評価・助言を行っている。評価内容は理事会、教職員会議等で報告され、次年度以降の改善に役立てている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
レストランサービス指導会社 役員	2023.4.1～ 2026.3.31	企業
社団法人 理事	2023.4.1～ 2026.3.31	企業
防衛省自衛隊 広報官	2023.4.1～ 2026.3.31	公務員
屋内型キッズ施設勤務	2023.4.1～ 2026.3.31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ https://www.tokyo-nissin.ac.jp/albums/abm.php?d=16&f=abm00000963.pdf&n=20230616_令和4年度学校関係者評価報告書.pdf
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ https://www.tokyo-nissin.ac.jp

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H113310100241
学校名	東京商科・法科学院専門学校
設置者名	学校法人 東京日新学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		15人	13人	15人
内訳	第Ⅰ区分	11人	－	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				15人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況		—	0人
「警告」の区分に連続して該当		0人	—
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	前半期	後半期	年間
	0人	0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況		—	—
計		—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。